

2. 環境保全業務報告

京都大学環境ファクトシート

2.1 サステナブルウィーク「エコ〜るど・京大 2013」を開催

京都大学環境科学センター 浅利 美鈴

全員参加型で環境負荷を低減した、持続可能なキャンパスの実現を目指している京都大学。

その強化イベントとして、2013年6月24日(月)～30日(日)の期間、吉田キャンパスにて「京都大学サステナブルウィーク エコ〜るど・京大」を初めて開催しました。

エコ〜るど京大とは、エコ×世界(ワールド)からの造語で、『Think globally, Act locally, Feel in the Campus!』を願ってつけられたもので、またエコ〜る(École)とはフランス語で学校を意味し、京大の中でエコを学ぶ学校を期間限定で開校するという意味も込められています。

今回、このエコ〜るど京大では構成員全員が意欲を持って参加できるよう様々な楽しいイベントを設けるとともに、イベントに参加するともらえるスタンプを集めると協賛企業等からの賞品がもらえるといったスタンプラリーも開催しました。協賛企業等からの魅力のある賞品(古民家宿泊権、エコバック及び食事券など)を狙って、多くの構成員が様々なエコ行動に挑戦する機会となりました。

期間中の主なイベントとして、物々交換市(ブツ市)、こだわりマルシェ、情熱トークバトル、スペシャル京大ごみ拾い、グリーンフィルム上映会等が開催されました。それぞれ多くの参加者がイベントを盛り上げてくださり、初めて開催した今回のイベントは、無事幕を閉じました。

【主なイベント】

・物々交換市(ブツ市)

まだまだ使える物、新品でも使っていない物、古いけれど何やら面白い物を持ち寄り、物々交換するというこの企画。皆様のご協力のおかげで、たくさんの品物が集まり、幅広いジャンルの物々

交換ができました。欲しい人に欲しい物が渡ると
いうこの企画、多くの方々に満足いただけたので
はないでしょうか。



・こだわりマルシェ

学生サークルメンバーらが育てた生ごみの堆肥
を用いた野菜の販売、フェアトレード・サークル
によるフェアトレードコーヒー、クッキー等の販
売、京都市の山で山仕事等を行っているサークル
による間伐材を使った製品の展示等がありました。
販売されていた賀茂なす、なす、きゅうり、トマ
ト、じゃがいも等は市価よりも安価で味も美味し
く、またクッキーも大変美味しいもので、大好評
でした。



・情熱トークバトル

学内外の環境問題に対して様々なアプローチを
試みている個人や団体によるプレゼンテーション
として開催されました。どのプレゼンテーション
も特徴があり、ふむふむなるほど！と感心させら
れたり、面白おかしく、うまく場を和ませたり、
場を引き込んだりと時間を忘れるほど、充実した
プレゼンテーションでした。その中でも最高位を
取って、全ての賞品を獲得したグループは会場を
笑いに包み、しっかりと皆さんの心を捕らえてい
ました。おそらく会場にいた全員が最高位にふさ
わしい納得したプレゼンテーションと思われたの
ではなかったでしょうか。



・スペシャル京大ごみ拾い

行政や企業、市民団体の皆様のご協力のもと、
学生・教職員の混成2チームが時計台前を出発し、
キャンパスの周りをぐるりと清掃しました。1チ
ームの中では、ごみの種類ごとに袋を持つ担当と拾
う担当とに別れ、ごみの種類ごとに声を掛け合っ
て集めていきます。天気にも恵まれ、急造のチ
ームとは思えないほど、てきぱきとごみを集めるこ
とができ、時間通りに時計台前に戻りました。集
めたごみは、時計台前で種類別に並べ、皆さん充
実した表情で記念撮影を行いました。



・グリーンフィルム上映会

環境問題について、知り、考え、勇気をもらうのの一押しの映画（シェーナウの想い～自然エネルギー社会を子どもたちに～、おいしいコーヒーの真実、ノー インパクト マン/地球にやさしい生活）を公開しました。観に来てくださった方々やメッセージを投げかけてくださったゲストの方々、ありがとうございました。皆様にとって環境問題について考え、行動する新たなきっかけとなれば幸いです。